

## 令和5年度 各図書館の取組状況 (堺区)

定量的指標	H30	R4	R5	前年度比	30年度比
貸出点数	819,257	771,069	点		
区民千人当たり	5,540	5,191	点		
予約受付点数	59,158	42,675	点		
区民千人当たり	400	287	点		
レファレンス受付件数	24,677	22,885	件		
区民千人当たり	167	154	件		
来館者数(来館回数)	500,823	432,556	人(回)		
区民一人当たり	3.4	2.9	回		

※堺区人口 148,539 人(令和5年4月1日時点)

※中央図書館、堺市駅前分館、図書館カウンター堺東を含む

※図書館カウンター堺東は貸出者数を来館者数とみなす。

令和4年度図書館サービス評価を踏まえての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用の少ない層を含め、様々な世代に情報を届けることが課題である。広報内容や時期、手段等、全体的な広報力の強化を図る必要がある。</li> <li>・行政資料を含めた独自資料の電子化と電子図書館での公開。</li> <li>・学校をふくめた他団体、市民との協働を推進し、特に利用の少ない青少年に向けた書架構築、情報発信をおこなう必要がある。</li> </ul>

今年度の目標
<p>中央図書館として以下の目標に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在ある各種メディアをみなおし、戦略的な広報を進める。【育む力】</li> <li>2. 電子書籍提供サービス(電子図書館)に、堺市独自資料や市広報、各種計画といった行政資料をコンテンツとして収集・公開し、資料紹介・Eレファレンス等広報を含めて利用促進を図る。【創る力】</li> <li>3. 利用者の利便性の向上のため、新たなサービスの試行、検証を行う。【学ぶ力】</li> <li>4. 近隣の学校と連携し、ティーンズエリアの発展、広報に取り組む。【学ぶ力】</li> </ol>

## 【目標に向けた具体的取組内容】

1. 戦略的広報を進める	
サービスの具体的方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	本市図書館のめざす姿を明確にし、その情報を発信することによって市民・庁内の図書館理解と利用の促進を図る。
内容	図書館ホームページの内容を整理し、利用者にわかりやすい構成に変更する。 SNSを含めたすべての広報媒体で全体の統制をとり、効果的な広報を進める

効果	図書館に関する情報の獲得手段として現在主流になっているホームページをわかりやすくすることで、既存の利用者だけでなく新たな利用者への情報発信力を強化する。 また、広い年齢層に様々な情報を積極的に発信することで、市民の図書館への理解を深め、積極的な利用を促す。
指標	図書館ホームページアクセス数、SNS 発信数

2. 堺に関する独自資料として、地域資料に加えて行政資料を収集・公開し、電子図書館のコンテンツとして堺の情報の発信と継承に貢献する。	
サービスの具体的な方向性	⑦堺の歴史文化を保存し、次代に継承して活かします。
目的	堺市独自の電子図書館資料として行政資料を収集・公開し、堺の情報の発信と継承に貢献する。
内容	行政部門の各部署が作成した計画・要覧等の行政資料を堺市独自の電子図書館資料として収集し、公開をすすめる。
効果	毎年定期的に作成される行政資料を電子図書館で体系的・網羅的に収集・公開することで、紙媒体の図書館資料と一括して検索できる。従来図書館で紙媒体でしか提供していなかった行政資料がデジタルで公開されることで、市民に限らず国内外の人々が堺のことを知り、学ぶことができるようになる。
指標	堺市独自資料の公開件数・閲覧数、地域資料のE レファレンス件数

3. 新たなサービスを試行実施し、検証して利用者の利便性の向上に努める。	
サービスの具体的な方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	利用者の利便性の向上や資料の満足度につながる新たなサービスの検証
内容	・コンビニエンスストアでの返却取次事業を6月～11月まで試行実施し、その効果を検証する。 ・分館の新刊資料を共有資料として所蔵館を固定しない運用を試行する。
効果	・乗降者数が多くかつ近隣に図書館のない駅の近くにあり、若者世代、働き世代がよく利用し、通勤・通学・買い物等の途上で立ち寄ることができるコンビニエンスストアと連携して試行実施することにより、返却ポイント(箇所)の増加が利用者の利便性向上に繋がるのかなど市民ニーズを検証する。 ・分館資料の書架の新鮮さを維持し、分館の資料満足度の向上をめざす。
指標	・実施店舗での返却冊数、利用者数 ・分館共有資料の貸出点数

4. 近隣学校と連携したティーンズコーナーの構築	
サービスの具体的な方向性	⑥青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。
目的	青少年にとって魅力的な事業や資料を提供することで、青少年の主体的な図書館利用、学びの場としての活用を促進する。

内容	青少年による本の紹介、情報発信の場の提供など、高校等の学校と協働して実施する。
効果	青少年と連携して事業を実施することにより、世代のニーズを把握し、青少年が魅力を感じる資料・情報の提供ができる。
指標	事業実施回数

## 令和5年度 各図書館の取組状況 (中区)

定量的指標	H30	R4	R5	前年度比	30年度比
貸出点数	447,434	378,667	点		
区民千人当たり	3,644	3,185	点		
予約受付点数	24,158	15,365	点		
区民千人当たり	197	129	点		
レファレンス受付件数	6,077	6,728	件		
区民千人当たり	49	57	件		
来館者数(来館回数)	222,869	192,396	人(回)		
区民一人当たり	1.8	1.6	回		

※中区人口 118,879 人(令和5年4月1日時点)

※中図書館、東百舌鳥分館を含む

令和4年度図書館サービス評価を踏まえての課題
<p>・「ソフィア・堺」内の各施設との連携については、より相乗効果が生み出せるよう、さらに取組の充実に努める必要がある。</p> <p>・学校や地域、図書館サポーターと連携し、市民と図書館のつながりを深める機会になるように、講座やイベントを実施する必要がある。</p> <p>・「介護」や「認知症」といった社会的な課題(テーマ)に係る取組については、より広く多くの市民に、参加や関心を持っていただける機会になるよう、専門機関等との連携、協力を深めて、引き続き取り組んでいく必要がある。</p>

今年度の目標
<p>区域の知の拠点・情報の拠点として、市民ニーズ、社会ニーズに応える資料・情報の提供に取り組むとともに、図書館の利用促進につながるよう以下の取組を実施する。</p> <p>1. ソフィア・堺内の「プラネタリウム」「平和と人権資料館」「中文化会館」および「教育センター」との連携を深め、相互に利用が活性化するよう取組を進める。【学ぶ力】</p> <p>2. 専門機関との協力事業を通して、社会的な課題の情報発信を行う。【学ぶ力】</p> <p>3. 青少年の図書館利用および特色ある資料の利用促進に向け、書架の見直しや情報提供の充実等を図る。【育む力】</p>

## 【目標に向けた具体的取組内容】

1. 「ソフィア・堺」内の各施設との連携事業の実施	
サービスの具体的方向性	⑥青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。
目的	ソフィア・堺内の各施設と連携した取組を展開し、市民が多角的に学ぶ機会を提供する。

内容	中文化会館、プラネタリウム、平和と人権資料館および教育センターが実施する事業と連携したブックフェアを開催するとともに、共催イベントも実施する。
効果	多角的な学びの機会を提供することで、各施設と図書館の利用を促進し、相乗効果により、相互の施設利用活性化が図られる。
指標	ブックフェア等の連携事業の実施回数

2. 専門機関等との連携事業の実施	
サービスの具体的な方向性	③さまざまな専門家等との連携によるサービスに努めます。
目的	専門機関と連携し、社会的な課題について情報の提供を行い、市民が関心を持ち理解を深め、また、抱える課題の解決を図る一助とする。
内容	中基幹型包括支援センターとの連携による「介護予防」「認知症」に係るパネル展の実施、及び、関連イベントの開催。 子ども家庭課等との連携による課題解決支援講座(テーマ「里親制度」)の開催。
効果	要介護者や認知症者又はその家族や介護者の支援および里親制度の普及促進につながる。 また、社会全体、地域全体で子どもや認知症者・要介護者およびその家族を支えるといった住民意識の醸成につながる。
指標	参加者の理解度・満足度(アンケート等による)

3. 書架の見直し及び情報提供等の充実	
サービスの具体的な方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	利用の少ない青少年に係る書架の見直し、また、中図書館の特色である「教育情報コーナー」の資料の充実と効果的な情報提供により、図書館利用の促進につなげる。
内容	学校等との協力のもと、ティーンズコーナーを新たに設置する。 教職員及び教育に携わる方のニーズにマッチした教育情報コーナーの資料の充実を図る。 教育センターとの連携による教員研修時の資料展示や、教育情報コーナー新着リスト作成など、教職員に対する図書館や資料に関する情報提供の充実を図る。
効果	主に10代後半にターゲットをしぼることで、よりニーズにあった書架とし、一人でも多くの図書館利用促進、今後の継続利用につなげる。 教育情報コーナーの利用促進により、図書館の役割でもある「教職員支援」「学校支援」につながる。
指標	ティーンズコーナーの設置／教職員支援に係る取組件数

## 令和5年度 各図書館の取組状況 (東区)

定量的指標	H30	R4	R5	前年度比	30年度比
貸出点数	453,572	400,232	点		
区民千人当たり	5,361	4,740	点		
予約受付点数	38,540	28,759	点		
区民千人当たり	456	341	点		
レファレンス受付件数	12,472	6,766	件		
区民千人当たり	147	80	件		
来館者数(来館回数)	372,539	272,336	人(回)		
区民一人当たり	4.4	3.2	回		

※東区人口 84,429 人(令和5年4月1日時点)

※東図書館、初芝分館を含む

## 令和4年度図書館サービス評価を踏まえての課題

- ・子どもや青少年が豊かな学びを得ることができるような取組を実施するとともに、その場限りではなく継続して活躍できるような場をつくる必要がある。
- ・区内施設・関連部局などとの連携を評価していただいたが、継続して連携を図り相互に協力しながら、市民の課題解決につながる情報発信を行う必要がある。
- ・様々な世代に親しみを持ってもらい、身近で使いやすい図書館となるよう、市民のニーズに応じた取組を検討する必要がある。

## 今年度の目標

東区の知の拠点として、他機関と連携しながら利用者の課題解決やニーズを満たすため、以下の目標に取り組む。

1. 子どもや青少年が読書への関心を深めるためのサービスを継続して行う。【学ぶ力】
2. 他機関や利用者が抱える課題の周知・解決のため、他機関と連携をした情報発信・情報提供や関連事業を実施し利用者の関心を深める。【育む力】
3. 高齢者が多い地域のため、シニア向けに学習の場及び交流の場を提供する。【学ぶ力】

## 【目標に向けた具体的取組内容】

1. 子ども読書活動推進に関わる事業の実施	
サービスの具体的方向性	④子どもと一緒に安心して、楽しく利用できる環境を整備します。
目的	子どもの学びの場の提供と、読書環境の醸成及び図書館の利用促進
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携し、子どもと保護者がともに学び、体験できる講座を実施する。</li> <li>・子ども司書養成講座を実施し、その後、継続して活動できる機会を設け活躍の場を提供する。</li> </ul>

効果	実体験を通じて、子どもの好奇心が養われ、保護者と共有することでより興味を深めることができる。また、子ども司書が地域の読書リーダーとして継続して活動する機会を作ることで、図書館をPRし、周囲に読書の楽しさを伝えてもらい、図書館の利用促進につなげる。
指標	参加者数・アンケートの満足度 子ども司書の活動回数

2. 関連部局・機関と連携した事業の実施	
サービスの具体的な方向性	③さまざまな専門家等との連携によるサービスに努めます。
目的	・様々なテーマについて、関連部局や専門機関と連携して関連した情報や支援情報等を発信することで、市民が関心をもつ機会を作る。 ・ホームページや X(旧 Twitter)などを活用した広報を実施することで、効果的に図書館について周知を図る。
内容	・関連部局や機関と連携し、市民の関心のあるテーマでの展示やブックフェア等を実施する。 ・ホームページや X(旧 Twitter)などの SNS、また関連部局を通じた広報で、事業の案内・報告などの情報を適宜発信する。
効果	地域とつながりのある関連部局や機関と連携して資料や専門的な情報を提供することで、課題解決につながる機関を周知し、市民の学びを深める。また、図書館に馴染みのなかった市民に対しても図書館サービスについて周知を図るなど相乗効果をもたらす。
指標	連携事業・連携ブックフェア開催回数 連携機関数

3. 図書館の利用促進につながる事業の実施	
サービスの具体的な方向性	②くらしに身近なテーマを図書館で調べる・相談できるようにします。
目的	・高齢者に寄り添う事業、また市民に身近なテーマの事業を実施することで、市民にとって使いやすく、身近な図書館づくりをする。
内容	・シニア世代等からよく問い合わせのある、スマートフォン等での図書館ホームページや電子書籍の利用についての講座を実施する。 ・認知症など、市民のニーズに応じた身近なテーマについての情報を提供し、知識を深めることができる事業を実施する。
効果	くらしに身近でニーズに沿った情報を提供することで、図書館により親しみを感じてもらい、利用促進につなげる。
指標	・講座・事業開催数 ・参加者数

4. ブックフェア及び書架展示の充実	
サービスの具体的方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	・図書館資料の活用を図り、市民が新たな本と出会うことで、読書に親しみ、図書館の恒常的なユーザーとなる機会を作る。
内容	・近隣高校との連携を継続し、高校生のおすすめの本のコーナー等の活性化を図る。 ・展示スペースの増設を行い、図書館利用が少ない層向けのブックフェアを行う。
効果	・身近な高校生が作成したPOPを多数展示することで、ティーンズなど図書館利用が少ない市民の本への関心を高める。 ・東図書館の分担保存資料である読み物を中心として、書庫にある作品も含め、様々なテーマでブックフェアを実施することで、市民が名作や著名な作品と出会うきっかけとすることができる。
指標	・ブックフェア実施回数 ・近隣高校との連携回数

## 令和5年度 各図書館の取組状況 (西区)

定量的指標	H30	R4	R5	前年度比	30年度比
貸出点数	396,017	334,663	点		
区民千人当たり	2,923	2,510	点		
予約受付点数	23,650	15,263	点		
区民千人当たり	175	114	点		
レファレンス受付件数	4,360	3,660	件		
区民千人当たり	32	27	件		
来館者数(来館回数)	161,909	154,540	人(回)		
区民一人当たり	1.2	1.2	回		

※西区人口 133,343 人(令和5年4月1日時点)

## 令和4年度図書館サービス評価を踏まえての課題

令和4年1月にオープンした2階「学びと交流の広場」の利用促進の取組や、他機関との連携事業に注力した結果、4階図書館部分の来館者数の増加につながった。協議会からも良い評価と、連携強化や多様な団体へのPRなど取組継続への意見をいただいた。一方で新たな事業実施のため、運営体制に苦慮する場面もあった。始まった連携や事業は効率性を考えながら持続可能な形で実施し、通常の図書館サービスの低下を招くことがないように運営する必要がある。

## 今年度の目標

1. 「学びと交流の広場」の規定を整備し、広報を行うことで、学びと交流を必要とする利用者・利用団体の利用を促進する。【育む力・学ぶ力・創る力】
2. 医療機関・子育て関連施設・地域施設等と連携した事業実施、情報提供を行う。【育む力・学ぶ力】
3. いつ来館しても新鮮で、利用しやすい書架を維持するため、開架資料の除架を計画的に実行し、棚づくりを行う【育む力】

## 【目標に向けた具体的取組内容】

1. 「学びと交流の広場」の規定整備と広報	
サービスの具体的方向性	⑧市民交流の場を作ります。
目的	「学びと交流の広場」と図書館施設の利用促進をはかる。
内容	・読書・学習席の環境整備。 ・区内幼保施設、子育てサロン等に対する「ほんのえき」利用モデル作成と周知。 ・ラーニングスペース貸室規程の整備と広報。
効果	利用しやすい環境を整備し、利用を促進する。読書環境の充実や、子どもと一緒に安心して利用できる環境、市民交流の場の提供など、スペースの特質によってさまざまな効果が期待できる。

指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書・学習席の利用者数</li> <li>・ほんのえきの利用団体数及び利用人数</li> <li>・ラーニング A・B の利用団体数</li> <li>・図書館来館者数</li> </ul>
----	---

2. 医療機関・子育て関連施設・地域施設等と連携した事業実施、情報提供	
サービスの具体的な方向性	③さまざまな専門家等との連携によるサービスに努めます。
目的	地域の知の拠点として、くらしに役立つ資料・情報を提供する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関との連携による事業実施、ブックリストの作成等。【一部継続】</li> <li>・地域子育てサロン、保健センター等、主に子育て関連事業への職員派遣、資料提供等。【継続】</li> <li>・羽衣国際大学との連携による事業実施。【新規】</li> <li>・西区ブランド発信事業(西区政策推進室)への取組。【R4 とは違う形で継続】</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分担分野である医療情報の専門家と連携することで、より質の高い情報を提供できる。</li> <li>・様々な施設へ職員派遣を行うことで、読書活動を推進し、図書館利用を促進することができる。</li> <li>・「学びと交流の広場」を活用することで、取組1の達成にも寄与する。</li> </ul>
指標	連携機関数

3. いつ来館しても新鮮で、利用しやすい棚づくり	
サービスの具体的な方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	開架資料を適切に管理し、利用者がいつ来館しても新鮮で利用しやすい書架を維持する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飽和状態の開架資料について、出版後10年以上経過した資料を中心として書庫入れ等の除架を行い、計画的に移管や除籍を進める。</li> <li>・空いたスペースは、表紙が見えるように面展示のスペースとし、日常の配架や書架整理の際にメンテナンスを行う。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の古い資料を抜き、棚が空くことで、適切な情報を選びやすく、使いやすい書架が実現できる。</li> <li>・面展などの視覚的なアプローチで、いつ来館しても新鮮な興味を引く書架が実現できる。</li> </ul>
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開架からの除架点数</li> <li>・新たに作成した面展スペース(資料数)</li> </ul>

## 令和5年度 各図書館の取組状況 (南区)

定量的指標	H30	R4	R5	前年度比	30年度比
貸出点数	828,850	685,125	点		
区民千人当たり	5,887	5,149	点		
予約受付点数	69,885	51,598	点		
区民千人当たり	496	388	点		
レファレンス受付件数	15,376	18,218	件		
区民千人当たり	109	137	件		
来館者数(来館回数)	532,860	401,336	人(回)		
区民一人当たり	3.8	3.0	回		

※南区人口 133,049 人(令和5年4月1日時点)

※南図書館、榎分館、美木多分館を含む

令和4年度図書館サービス評価を踏まえての課題
<p>・分担分野の専門的資料の収集の他、日本語学習資料、英語多読資料など特色のある資料の収集を行ってきた。資料収集の継続に加え、利用者が新たな資料に触れる機会を増加させていく必要がある。</p> <p>・子どもが主体的に参加できるイベント、市民が歴史文化に触れる講座を実施し好評であったが、さらに子どもが楽しみながら知的好奇心を高められるイベントや、南区の歴史や文化を学べる講座の実施が求められている。</p>

今年度の目標
<p>「ひとを育み、共に学び、未来を創る力を市民とともに生み出す知の拠点」を実現するため、「南区基本計画」・「SENBOKU New Design」に基づき、地域の歴史文化にふれる機会の拡充や子どもの読書活動の推進を通じて区の子育て、教育環境の充実に努める。</p> <p>1. 地域の知の拠点としての蔵書構築、市民と資料を繋ぐ活動に取り組む。【育む力・創る力】</p> <p>2. 歴史や文化にふれる機会を拡充するとともに、区内関連機関等との連携に努める【学ぶ力・創る力】</p> <p>3. 子どもの知的好奇心を高め、図書館を楽しく利用できる機会を充実させる。【学ぶ力】</p>

## 【目標に向けた具体的取組内容】

1. 地域の知の拠点をめざした多様な資料の収集、提供	
サービスの具体的方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	利用者が新鮮で魅力的な資料と出会う機会を設ける。 南図書館では課題解決に役立つ資料、特に多文化共生に関する資料を充実し提供。
内容	<p>・分館における共有資料方式の試行実施により、分館利用者が様々な資料に出会う機会とする。</p> <p>・日本語学習資料、英語多読資料、外国語資料等特色ある資料を収集する。</p> <p>・利用者が来館するたびに資料との新たな出会いを感じてもらえるようミニブックフェア等、資料を紹介するイベントを開催する。</p>

効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共有資料方式により、これまでより多くの資料との出会いの場となることで、分館の魅力を向上する。</li> <li>・南図書館では多様な資料との出会いの機会を設けることで、新たな気づきや学びを得られる場とする。</li> </ul>
指標	ブックフェア実施回数、利用者アンケート満足度調査

2. 歴史や文化にふれる機会をつくり、地域とのつながりを強化する	
サービスの具体的な方向性	⑨堺のまちづくり・地域づくりのお手伝いをします。
目的	堺の歴史や文化にふれる講座を開催し、地域の魅力を発信する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南区の地域の歴史に触れるきっかけとなる講座の実施。</li> <li>・南図書館の近隣施設と連携した展示等の実施。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史文化市民講座については、南区に関わるテーマを設定することで、地域への関心を高める。</li> <li>・南区の読書活動に係る施設等と連携することで地域とのつながりを強化する。</li> </ul>
指標	参加者数、参加者アンケートの満足度 連携した機関数、および団体数

3. 子育て支援サービスの充実	
サービスの具体的な方向性	④子どもと一緒に安心して、楽しく利用できる環境を整備します。
目的	区の重要取組のひとつである「子育て・教育環境の充実」をふまえ、子どもの知的好奇心を高め、図書館を楽しく利用できる機会を充実させる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの知的好奇心を高め、興味を持って主体的に参加できるイベントの実施。</li> <li>・子どもと家族が楽しめるイベントとして、南区各館でおたのしみフェアを開催。</li> <li>・子育てサークルに赴き、親子でふれあいながら絵本の楽しさを実感してもらう。</li> <li>・図書館のおはなし会や読み聞かせ会に協力していただいているボランティアグループを対象に、役立つ知識や技術を伝授するボランティアステップアップ講座を開催する。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントを通じて、子どもが資料、図書館に出会う機会とする。</li> <li>・ボランティアグループの知識や技術を向上させることで、おはなし会や読み聞かせ会のさらなる充実を図る。</li> </ul>
指標	参加者数・参加者アンケートの満足度

## 令和5年度 各図書館の取組状況 (北区)

定量的指標	H30	R4	R5	前年度比	30年度比
貸出点数	586,044	518,870	点		
区民千人当たり	3,678	3,282	点		
予約受付点数	44,229	26,155	点		
民千人当たり	278	165	点		
レファレンス受付件数	4,365	6,296	件		
区民千人当たり	27	40	件		
来館者数(来館回数)	279,025	203,925	人(回)		
区民一人当たり	1.8	1.3	回		

※北区人口 158,098 人(令和5年4月1日時点)

## 令和4年度図書館サービス評価を踏まえての課題

- ・子育て世代の多い北区の図書館として、子育て支援サービスを継続して実施していく必要がある。
- ・昨年、一昨年の養成講座によって認定子ども司書は増えつつあるが、今後も定期的に活動していく場の確保が必要である。
- ・区民が北区の歴史文化について愛着をもてるような図書館事業を実施していくことが求められている。
- ・児童サービス、子育てサービス以外の図書館サービスについても市民に見える形となるよう発信していく必要がある。

## 今年度の目標

- 子育て世代を中心としながら、高齢者や児童・生徒に対する資料・情報提供を積極的に行っていく。
- ・子育て支援情報コーナーを充実させ、他部局と連携しながら、サービスを実施していく。【育む力・学ぶ力】
- ・子ども読書活動推進のため子ども司書養成講座を行い、学年を超えた読書活動や交流を促していく。【育む力・学ぶ力】
- ・北区をはじめとする堺市の歴史文化について、積極的に資料を収集するとともに情報提供していく。【学ぶ力】

## 【目標に向けた具体的取組内容】

1. 子育て支援サービスを実施していきます。	
サービスの具体的方向性	④子どもと一緒に安心して、楽しく利用できる環境を整備します。
目的	子育て世代の課題解決に役立つ資料・情報の提供
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北図書館の特色ある資料としての子育て支援関係資料を積極的に収集</li> <li>・昨年より続けている子育て支援情報コーナーでのブックフェアの定期的な実施</li> <li>・子育てフェスタをはじめ関係機関と連携した事業の実施</li> <li>・参加者の増加に対応した絵本の読み聞かせの拡充</li> <li>・子育てサークルでの読み聞かせの実施</li> </ul>

効果	子育て支援情報コーナーの充実、子育てに関する地域情報の提供及び各種行事の実施によって子育て世代の図書館利用の増加が見込める。
指標	・子育て支援関係資料の貸出点数 ・絵本のおよみさせ等の行事の参加人数

2. 子ども読書活動の推進	
サービスの具体的方向性	④子どもと一緒に安心して、楽しく利用できる環境を整備します。
目的	読書活動を通じて、子どもが自ら考え、問題を解決していく能力を身に付けることを支援する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さかい子ども司書養成講座の実施。</li> <li>・講座実施後、先輩子ども司書も交えての活動を定期的実施。</li> <li>・おはなし会の参加者数を増やすため、ボランティアの小学校訪問に合わせた行事広報や館内広報等を実施。</li> <li>・ティーンズエリアのミニブックフェア実施および刊行物発行。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども司書活動を実施することで子どもが主体的に読書に取り組むことができる。また先輩子ども司書が新人子ども司書に指導することで、これまで学んだことをより深く理解することができ、今後の活動に活かすことが期待できる。</li> <li>・おはなし会の参加が増え、参加した子どもが読書に親しみを持つことで、図書館の利用促進につながる。</li> <li>・青少年に魅力的な棚づくりや情報提供を行うことで利用を促進する。</li> </ul>
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さかい子ども司書養成講座の受講者数と満足度</li> <li>・さかい子ども司書活動の参加者数と満足度</li> <li>・おはなし会の参加人数</li> <li>・ティーンズエリアブックフェア回数、刊行物発行回数</li> </ul>

3. 地域の歴史文化への市民の関心が高まるような取組をします。	
サービスの具体的方向性	⑦堺の歴史文化を保存し、次代に継承して活かします。
目的	北区にはニサンザイ古墳、イタスケ古墳や百舌鳥八幡神社、華表神社などの史跡が多数ある。これらの魅力を伝え、関心を高めてもらうことで地域への愛着を深め、図書館利用に繋げる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北区資料をはじめ、地域資料の寄贈要請も含めた積極的収集。</li> <li>・北区関係地域資料を中心にブックフェアを行う。</li> <li>・堺歴史文化市民講座を実施する。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北区に関する資料をより知ってもらうことで、地域への知的好奇心を刺激することができる。それが継続的な地域への探求心を高め資料利用に繋がるのが期待できる。</li> <li>・歴史文化市民講座と関連史跡の写真展示を実施することで市民の興味関心を刺激し、市民同士の交流につなげていく。</li> </ul>
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北区関係資料の受入点数。</li> <li>・堺歴史文化市民講座の参加人数と満足度</li> </ul>

## 令和5年度 各図書館の取組状況 (美原区)

定量的指標	H30	R4	R4	前年度比	30年度比
貸出点数	338,148	266,009	点		
区民千人当たり	8,854	7,225	点		
予約受付点数	17,061	11,692	点		
区民千人当たり	447	318	点		
レファレンス受付件数	8,924	6,300	件		
区民千人当たり	234	171	件		
来館者数(来館回数)	153,672	104,532	人(回)		
区民一人当たり	3.4	2.8	回		

※美原区人口 36,816人(令和5年4月1日時点)

## 令和4年度図書館サービス評価を踏まえての課題

- ・新型コロナウイルス感染拡大前(平成30年度)と比した利用(来館者数、貸出点数等)の減少が全館で最も大きい。子どもや子育て世代の減少、高齢者比率の増加など区の課題ともリンクする問題である。
- ・行事を含む図書館サービスをコロナ禍以前の状態に戻しつつ、利用者や職員、図書館ボランティアの安心・安全に配慮した現時点での最善の方策のもと実施することが求められている。
- ・商業施設の増加など周辺環境の変化も念頭に、連携や広報を引き続き強化する必要がある。

## 今年度の目標

- 利用の増加を第一の目標とし、それに向けて利用者満足の向上、新規利用者の獲得のために以下の通り目標を設定する。
- 1.子ども対象の行事を含め、各種行事を安心・安全を担保した形で実施する。より多くの人に事業内容が伝わるよう広報にも工夫をする。
  - 2.従前から利用の中心であったシニア層をターゲットとした事業を実施する。介護をテーマにした課題解決支援講座を実施するほか、他機関との連携による情報提供や、資料提供を行う。
  - 3.今まで利用したことがない人に図書館の存在を認識してもらう機会を拡げるため、庁内他部局や施設・学校園、近隣の商業施設との連携と、戦略的な広報をおこなう。

## 【目標に向けた具体的取組内容】

1. 各種行事の実施と効果的な広報	
サービスの具体的方向性	④子どもと一緒に安心して、楽しく利用できる環境を整備します。
目的	子どもや保護者、行事に参加する人たちが、行事を通して有意義な時間を過ごすことで、本や読書に親しむとともに、場としての図書館の意義を認識してもらえるようにする。

内容	<p>秋以降に予定している空調設備の大規模な工事の進行状況を踏まえて、柔軟に各行事を実施する。行事の広報にあたってはより効果的な内容・方法を検討して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年11月に実施していた美原図書館まつりの実施時期を、工事の影響のない夏休み期間に変更し、プログラムを厳選して実施する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため3年以上休止していた「おりがみであそぼう」を再開し、定例行事として定着させる。</li> <li>・7年目になる美原図書館ティーンズPOPふえすていばるの応募資格を拡充し、ティーンズと本を繋げるという趣旨はそのままに、より幅広い層に親しめる内容にする。</li> <li>・昨年度実施したパネル展「手紙にみる伊東静雄」を、美原図書館に来館できなかった人にも見てもらえるよう、図書館ホームページでデジタル展示として公開する。</li> </ul>
効果	<p>行事への参加を通じて本や図書館に親しみをもちてもらい、図書館利用を促進する。</p> <p>来館しなくても図書館の資料にアクセスする機会を提供することで、地域理解や図書館利用の契機とする</p>
指標	<p>定例行事の参加者数(前年度比の増加)</p> <p>「手紙にみる伊東静雄」ページの作成、アクセス件数</p>

2. シニア層への資料・情報提供	
サービスの具体的な方向性	⑥青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。
目的	利用の中心であるシニア層やその周辺の方々にとって役立つ資料や情報を提供し、豊かな生活を送るための一助となる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決支援講座『グループワークで学ぶ-少林寺拳法らしく介護テクニック-』を開催し、実践も交えながら介護について学ぶ機会を提供する。関連資料の展示も行い貸出等の利用に繋げる。</li> <li>・地域包括支援センターとの協働で、認知症についてのブックフェアを実施し、関連ブックリストを作成・配布する。</li> <li>・書庫にある美原町立図書館時代の豊富なよみもの資料を活用して、昭和～平成初期に活躍した物故作家をテーマにしたミニブックフェアを定期的実施する。</li> </ul>
効果	楽しみとしての読書活動を支援するとともに、生活に必要な情報を得ることができる場所として図書館を認識してもらうことにより、シニア層やその家族の利用を促進する。
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決支援講座の参加者数、アンケートの満足度</li> <li>・連携ブックフェアの実施、関連ブックリストの作成と図書館ホームページ等での公開</li> <li>・ミニブックフェアの実施回数、貸出数</li> </ul>

3. 連携と広報の強化	
サービスの具体的な方向性	①市民の読書環境の充実にさらに努めます。
目的	図書館の存在やサービスについて知らない、また知っているが利用したことがない潜在的利用者に向けて、地域の知の拠点としての図書館を認識してもらい、利用促進に繋げる。

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美原保健センターとの連携により、各種ブックフェアの実施と保健センターの資料配布、マタニティフェアへの協力など図書館内外で事業を実施する。</li> <li>・学校園との連携を積極的に行う。</li> <li>・美原区役所企画総務課との連携のもと、昨年度 1 回実施したらぽーと堺での絵本読み聞かせ会の試行を継続する。</li> <li>・単独館の特徴をアピールするために、庭の花や木、府立農芸高校の生徒による植栽展示の写真を定期的に SNS に投稿してきたが、関連する内容の本と一緒に紹介することで図書館と本の両方の魅力を発信する。</li> </ul>
効果	<p>新規利用者の獲得により図書館利用を増加させる。</p> <p>また、区役所や市の関連施設・学校園、近隣の商業施設との連携により、区の魅力向上の一端を担う。</p>
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携事業数</li> <li>・連携事業への参加者数</li> <li>・SNS への投稿件数</li> </ul>